

報道関係者 各位

平成21年5月8日
新型インフルエンザ対策推進本部
照会先:メディア班
(電 話) 03(3595)3040
内線(8778、8779、8780)

【第一報】

北海道における、新型インフルエンザ(インフルエンザA/H1N1) が疑われる患者の発生について

5月8日、北海道(十勝支庁)において、アメリカから帰国した方一名について、新型インフルエンザ(インフルエンザウイルス、A/H1N1)疑いのある患者の届出がございましたので、現時点での状況及び行政の対応について報告いたします。

1 患者に関する情報

(1) 概要

患者はアメリカより帰国の幼児。母、祖母と共に4月17日～4月30日までアメリカ(アリゾナ州)に滞在し、4月30日に帰国(ロサンゼルス発成田着 JAL61 便)。5月7日に医師の診察を受け、インフルエンザ簡易検査にてインフルエンザ A 型陽性、B 型陽性であったが、医師が臨床的に新型インフルエンザに感染している可能性を強く疑い、疑い患者の発生として、北海道より、新型インフルエンザ対策推進本部に連絡があった。なお、当該疑いのある患者については、検疫所の健康監視対象者である。

(2) 患者の状況

5月7日現在、発熱(37.9℃)、咳の症状が出ている。現在、感染症指定医療機関に入院中。

(3) 検査の状況

今後、北海道立衛生研究所において検査を行うとともに、国立感染症研究所への検体搬送を予定している(道によれば、道立衛生研究所の検査結果は、本日午前中に判明の見込み)。

(4) その他

なお、国内における患者の行動及び接触者状況については現在調査の準備中。また、同行者については、症状なし。